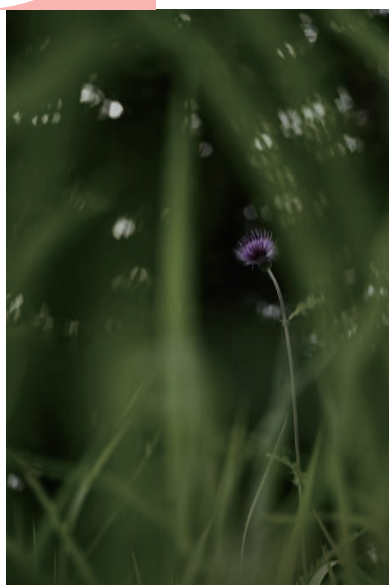


中高生フォトグラファー応援マガジン

boys & girls photo magazine No.321

# TopEye

2024年度第3回TopEyeフォトコンテスト結果発表!



組写真部門

「不感世界」 石川 修麻 宮城県白石工業高等学校3年



単写真部門

「私の頭の中」 池亀 結海 沖縄県立浦添工業高等学校2年



2024年度第4回TopEyeフォトコンテスト

募集期間 12/20(金) ~ 1/10(金) 2025

当日必着有効

詳細はコチラ



第72回ニッコールフォトコンテスト  
スペシャルコンテンツ

入賞作品公開中

詳細はコチラ



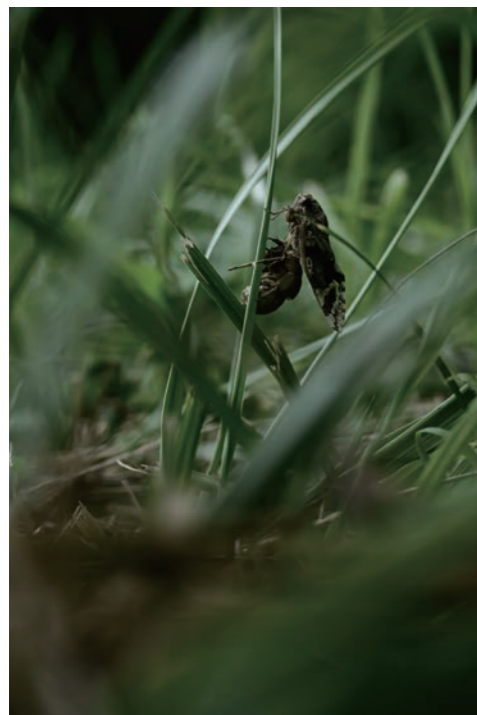
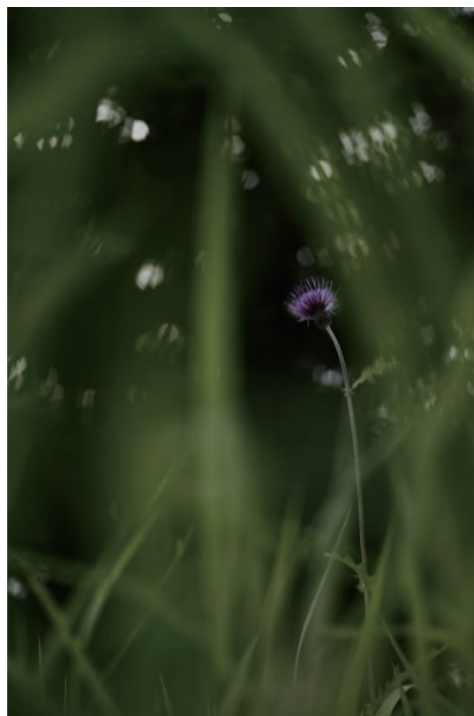
# TopEye フォトコンテスト

2024年度第3回

742作品の応募があった2024年度の第3回TopEyeフォトコンテスト。1年を締めくくるのにふさわしい力作ぞろい。来年もたくさんの作品を見られることを楽しみにしています！

## 組写真部門

今回のTopEye賞は、日常を切り取る力とテクニックに審査員も大絶賛。一つの商品として見たときの写真の並びや、構図のメリハリなども評価のカギとなりました。



賞状 CREATORSグッズ5点

### 「不感世界」石川 修麻

宮城県白石工業高等学校3年

「足元に広がっていた世界をうまく捉えた作品。どこにでもあるような原っぱから、ここまで印象的なものを抽出できるんだと驚きました。シャッタースピードや絞りの数値など、自分の思い通りにカメラを扱えている印象があり高いテクニックを感じます」(秋山)  
「日常の中の被写体をフォトジェニックにおもしろく撮れていますね。奥行きやボケ味の作り方、構図の動かし方も見事。それぞれ微妙に変えることで、単調にならず見応えのある表現に繋がっています。このテーマでよくぞ4枚振り分けたなど。日常もうまく切り取ればおもしろい写真になる、ということのお手本のような作品です」(熊切)

### 受賞のコトバ

この度はTopEye賞に選んでいただきありがとうございます。私の周りで受賞する人が多く出てきて、焦り始めていた際に受賞の連絡を受けたので、とても嬉しい気持ちです。今回の組写真は、雰囲気やボケ、ぶらしなどを意識しました。どの写真もふと見つけたものを撮影していて、普段の生活では目を向けることがない世界を発見することが出来ました。



賞状 Tシャツ+キャップ

### 「手をとって」鈴木 月渚

和歌山県立神島高等学校3年

「人だけではなく台所やベッドを撮ることで、その人の気配やキャラクターを見せていく。説明的ではなく受け手に想像させるような、"あなたのおばあちゃんってどんな人ですか?"と投げかけるような表現が秀逸です。光の使い方や陰影の利かせ方も上手ですね。薄暗いのに柔かい光の差し込みがとてドラマチックです」(熊切)  
「外からは見ることができないその人の生活を、こっそり覗かせてもらっている気分になりました。目に見えない・形にならないものをまとめるという、組写真ならではの表現がうまくできているなど感じます」(秋山)



賞状 CREATORSクロス

### 「秋のぬくもり」鈴木 莉緒

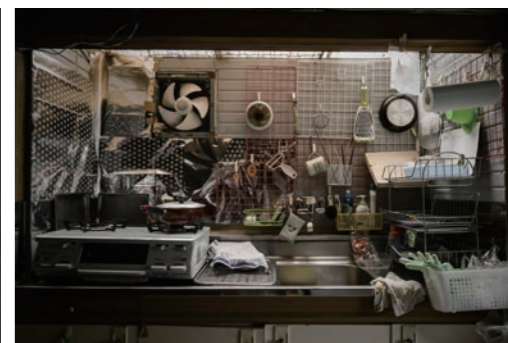
中越高等学校1年(新潟県)

「写真で一連の動きの流れを分かりやすく並べることが普通あまりしないのですが、そこに挑戦している点に"よくやった!"と言いたいです。動画的な表現が一周まわって新鮮で、可能性を感じました。枚数を増やしたり目線の高さを変えたりしてもいいかもしれません」(熊切)

### 「元気いっぱい」草間 純怜

中越高等学校1年(新潟県)

「子供の持つピュアなやんちゃさが非常によく撮れています。躍動感もいいですね。ただ顔の向きが同じ2枚を隣同士に並べることで、一つの作品が1枚と2枚に分離している印象に。3枚を一度に見たときのことを考えて組む意識もとても重要です」(熊切)



### 受賞のコトバ

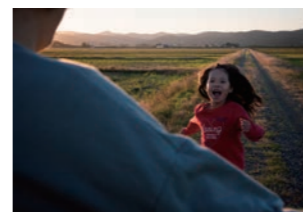
この度は金賞に選んでいただきありがとうございます。この作品は、天窓や障子からさす淡い光を意識して撮影しました。被写体になっていただいた方々と仲良くなり自分もその場に溶け込んで撮影することを心がけました。静かな部屋に道まで聞こえるほどの明るい笑い声が響き渡っていて、撮影がとても楽しかったです。室内の光を捉えることは難しかったけれど、自分も思ったように写すことができて良かったです。ありがとうございました。



### 「いつもの場所」太田 斗真

和歌山県立神島高等学校1年

「俯瞰的な捉え方で1年生とは思えない大人びた表現。モノクロで時代性が消えて、誰もが持つ普遍的な時間に思いを馳せることができます。フィルター機能でオレンジやレッドを選び表情を明るく仕上げてあげると、緑を背景にしても人物を際立たせることができると思います」(秋山)



銀賞  
2024 / 第3回  
賞状 CREATORSキャップ

「挑み」は、身の回りのドラマチックな出来事にカメラを向けて、それをきちんと捉えることができます。喜怒哀楽、緊迫感、瞬間性など、その場で起きたことをしっかり撮り分けていて見応えがありますね。スポーツにおけるドラマが凝縮されたような作品です」(熊切)  
「君の花になる」は、体のラインとお花を沿わせるような撮り方にこだわりを感じます。ソフトフォーカスの質感も幻想的で、モデルの表情やお花の雰囲気とよくマッチしていますね。流れで撮影したような自然さもあつ、ピントを合わせる場所を的確に選んでいる点が素晴らしい」(秋山)

「Identify」飯田万柚子  
東京都立総合芸術高等学校2年



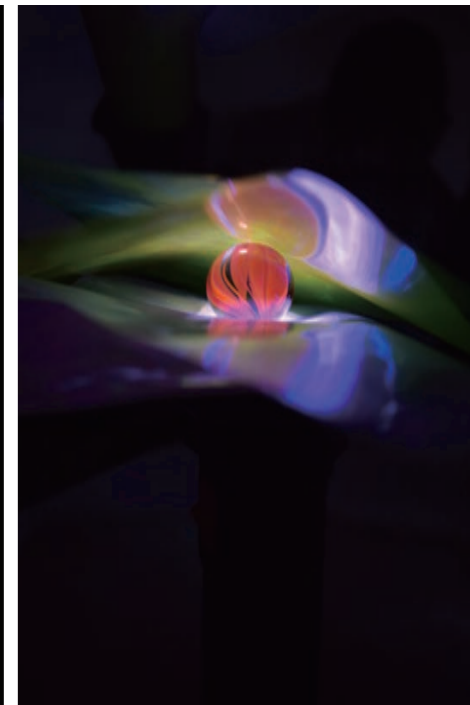
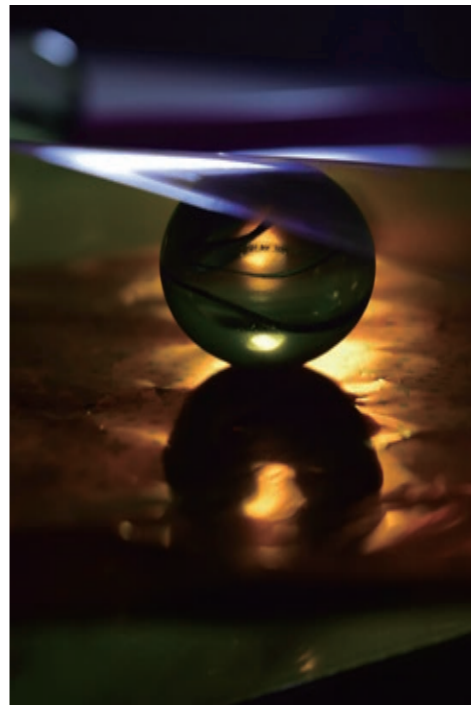
「君の花になる」鈴木えみ  
中越高等学校1年(新潟県)



「挑み」西澤捺希 中越高等学校1年(新潟県)



「planet」澤田知奈 帝塚山学院中学校高等学校 中学3年(大阪府)



「まなざし」寒川 絵梨香 和歌山県立神島高等学校2年



# 銅賞

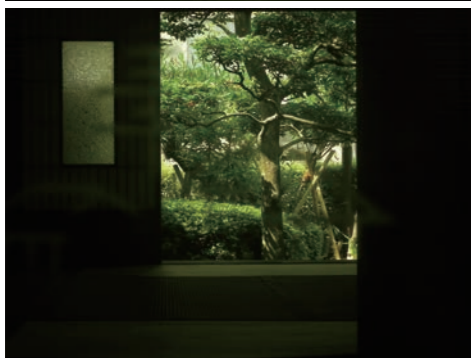
2024 / 第3回

賞状 CREATORSタオル

「(ひととき)は、被写体の自然な振る舞いを切り取ることができていますね。限られた場所の中で、寄り引きしながら奥行きのある表現ができています。次の日への繋がりを感じるような、想像が膨らむ構成の仕方もすごくいいです」(秋山)  
 「(いろんな目)は、まさに組写真ならではの作品ですね。1枚1枚はシンプルだけど、組にすることでバリエーションを見たくなる。その発想のおもしろさと、目だけで勝負した思い切りのよさが光っています」(熊切)

九州産業大学付属九州高等学校1年(福岡県)

「碧緑」石井咲衣



「いろんな目」内山 優香 中越高等学校1年(新潟県)



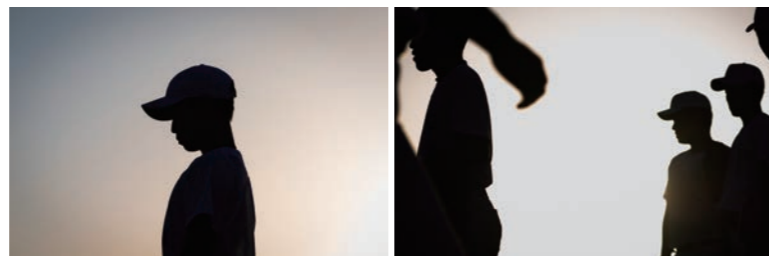
「晴天」濱本海里  
和歌山県立神島高等学校1年



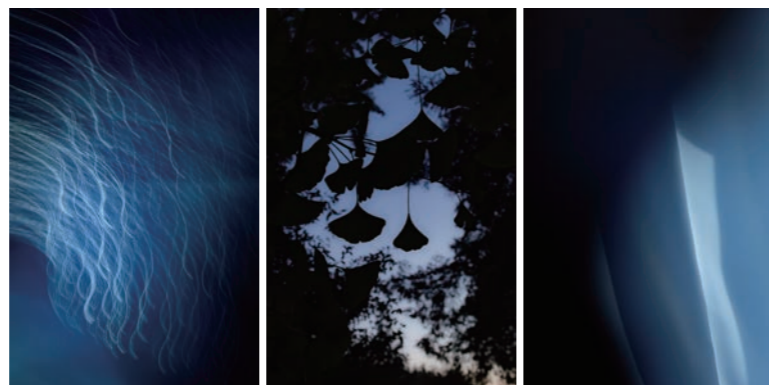
「想愛」市川 叶夢  
群馬県立富岡実業高等学校3年



「存在」中山 あいり 中越高等学校3年(新潟県)



「mystery time」今井 奏良 群馬県立富岡実業高等学校2年



「いつか見られなくなる景色」山根 楓 和歌山県立神島高等学校1年



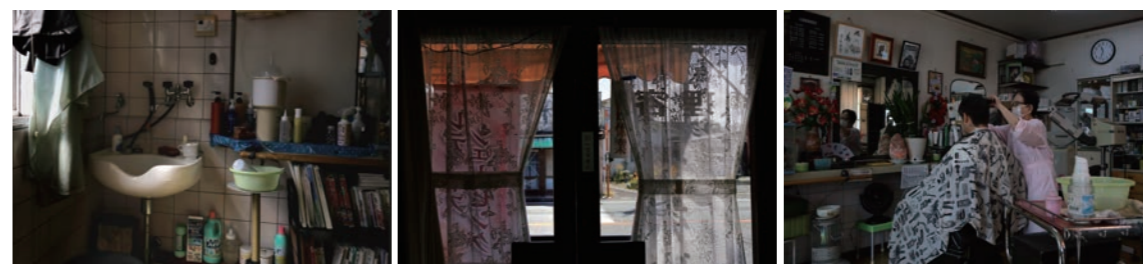
「少年だった夏」宮本 彩由奈 山口県立下松高等学校2年



「ひととき」丸山 世梨加 和歌山県立神島高等学校3年



「街の床屋さん」高田 優里 八代白百合学園高等学校1年(熊本県)



## TopEye フォトコンテスト

2024年度 成績中間発表 vol.3

詳細は表紙の  
次回締切  
2025年  
1/10(金)  
当日必着  
二次元コードからチェック!

### 組写真 部門

- 1位 和歌山県立神島高等学校 ..... 580pt
- 2位 宮城県白石工業高等学校 ..... 260pt
- 3位 八代白百合学園高等学校 ..... 190pt
- 4位 東京都立総合芸術高等学校、  
帝塚山学院高等学校 ..... 150pt

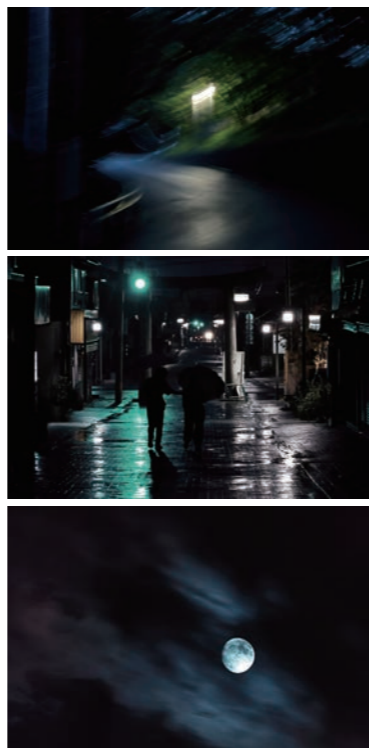
### 単写真 部門

- 1位 沖縄県立浦添工業高等学校 ..... 280pt
- 2位 宮城県白石工業高等学校 ..... 230pt
- 3位 八代白百合学園高等学校 ..... 170pt
- 4位 神戸国際大学附属高等学校、  
和歌山県立神島高等学校 ..... 150pt



「〈花便り〉は、春の柔らかい空気感をうまく表現できています。たった3枚だけれど、映画的な世界観でドラマを感じますね。ただし説明的で仕込んだような印象。動きや崩しを加えてリアルさを追求すると、作品性がより深まるのでは」（熊切）  
 「〈相似形〉は、被写体をよく観察したからこそ撮れた作品なのではと感じます。似ているという発見をうまく写真に落とし込めていますね。1枚目の写真は2人がいることが少し分かりづらいので、より伝わりやすい角度や瞬間を狙うとよかったですね」（秋山）

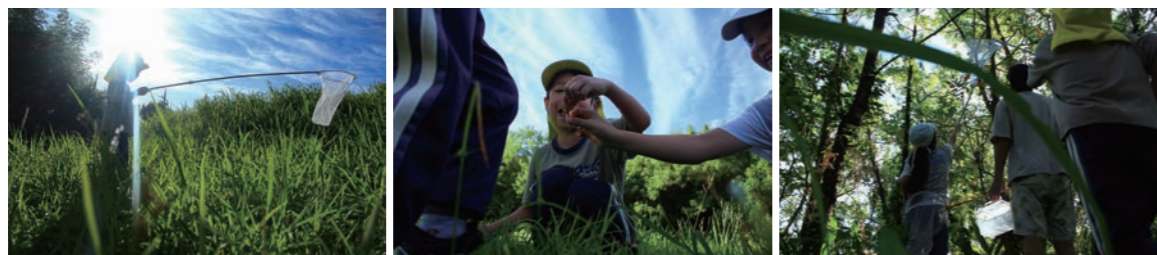
「深夜光」 城谷 美玖  
 九州産業大学付属九州高等学校2年（福岡県）



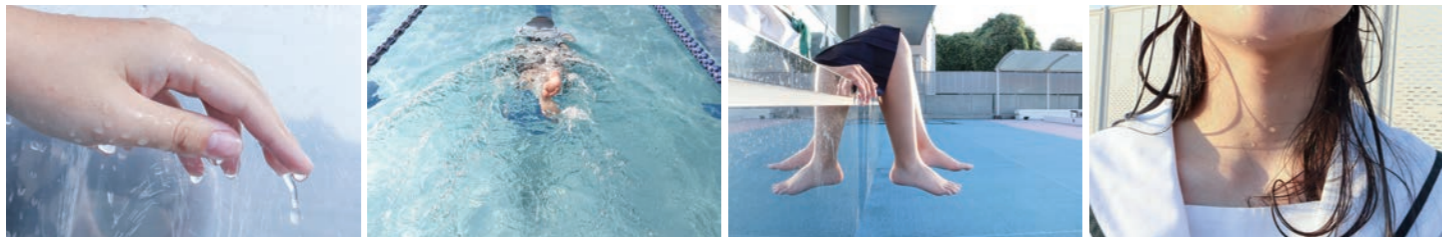
「努め」 横尾 凜 和歌山県立神島高等学校2年



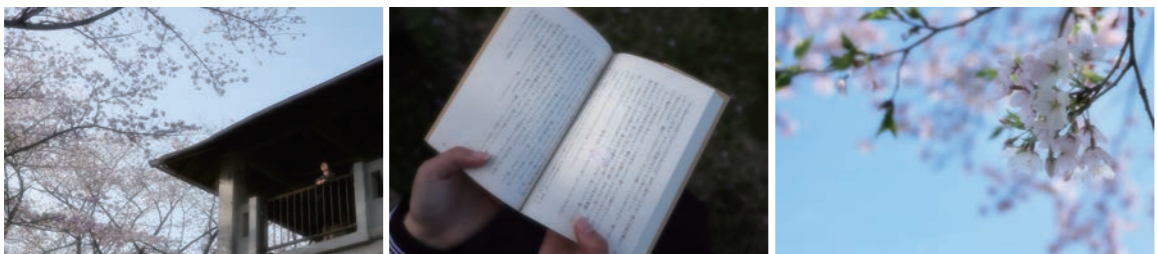
「夏の探検隊」 桃原 友歌 沖縄県立浦添工業高等学校2年



「鏡花水月」 中芝 海里 和歌山県立神島高等学校1年



「花便り」 岡田 莉瑠 八代白百合学園高等学校2年（熊本県）



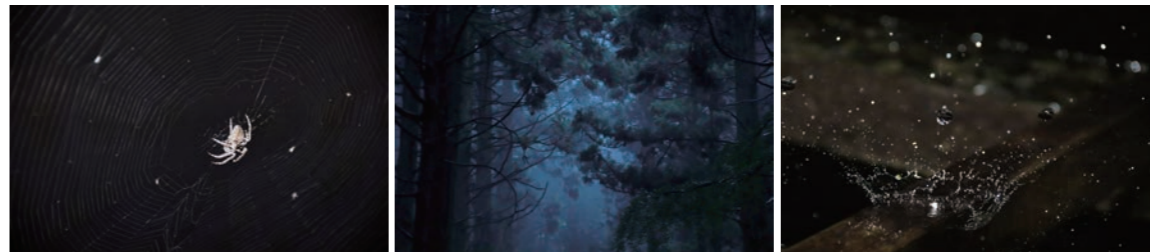
「ふるさと」 内田 朋花 八代白百合学園高等学校1年（熊本県）



「フレーム」 尾形 陽斗 仙台市立仙台工業高等学校3年（宮城県）



「覗き」 堤 香乃暖 八代白百合学園高等学校2年（熊本県）



「島の時間」 中山 鈴花 沖縄県立浦添工業高等学校2年



「相似形」 長井 裕菜 大阪府立生野高等学校2年



2024年度 第3回 総評

被写体探し&人に届ける表現にぜひ挑戦を

熊切：今回は人に踏み込んで撮ったような力強い作品が多かったですね。一方で、被写体の選択肢をもっともっと広げてほしいなとも思いました。人物以外には風景、鳥、スポーツなどの作品がありましたが、身の回りに隠れている被写体は他にもまだまだあります。人を撮るテクニックがあれば他のジャンルでも通用するはずなので、ぜひ他ジャンルにも挑戦してほしいですね。  
 秋山：そうですね。あとは自分の心模様と向き合った作品も目立ちました。気持ちが揺らいだ瞬間、ハッピーな瞬間、寂しい瞬間など、私的な表現をするためにいろいろとこだわりを持って被写体を選んで撮影したのだろうと感心しました。

熊切：ちょっとダークな写真が多かったですよね。  
 秋山：そうですね。ダークな写真が悪いわけではないけれど、自己完結するだけの表現ではない作品が撮れるのもいいですね。誰かと共感できたり、誰かに思いが届くような写真を撮るにはどうすればいいか。それを考えてみるのもいいんじゃないかな。そこにトライすることで、一段階上のフェーズに入っていけるのではと思います。  
 熊切：人に見せる楽しみ、感じてもらう楽しみっていうものにも繋がっていきますね。  
 秋山：自分に向き合うよりも見る人のことを考えて作品を撮るほうが難しくはありますが、その力を鍛えれば作品力もより上がるはずですよ。



審査員 熊切 大輔  
 東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経てフリーランスの写真家として独立。ニコカレッジ講師。ニコールクラブ アドバイザー。公益社団法人 日本写真協会会長。

審査員 秋山 華子  
 大阪芸術大学写真学科卒業後、写真家・織作峰子氏に師事。大阪芸術大学写真学科非常勤講師。ニコカレッジ講師。ニコールクラブ アドバイザー。

# 単写真部門

前回に引き続きポートレート作品のエントリーが多かった単写真部門。今しか撮れない感性での作品や好きなものを切り取った作品が、審査員の目に留まったようでした。



賞状 CREATORSグッズ5点

## 「私の頭の中」池亀 結海

沖縄県立浦添工業高等学校2年

「奥行きと平面の表現をうまく一枚の中にまとめた作品ですね。額縁構図は平面的だけど、手前の水の広がりは奥行きを感じさせます。このロケーションを見つけたこともすごさの一つだし、モデルのポーズも存在感がある。シンプルだけど、条件を見事にそろえているなという印象です」(熊切)  
「額縁の飛び出た部分に人物を置くことで視線を誘導させたり、干潟と人物と空の見事な配分など、細かなところまでこだわりが光ります。逆にシャドーにした額縁部分やインパクトのある女性の立ち姿など、画作りにおける大胆さも感じました。このコントラストが非常にマッチしていますね」(秋山)

### 受賞のコトバ

まさかTopEye賞を受賞することができるとは思っておらず、驚きと嬉しさでいっぱいです。この写真は洞窟の中から撮った写真で少し不思議な感じで撮ることができたのでお気に入りです。選んでいただき、ありがとうございました。これからも楽しく写真を撮っていききたいと思います！



賞状 Tシャツ+キャップ

## 「おととと！」岩田 麻央

帝塚山学院中学校高等学校 中学2年(大阪府)

「カメラを自分の乗り物のように使いこなしていますね。望遠の状況で的確に被写体を捉えている。鳥の羽が1枚1枚浮かび上がるように表現されているし、片足を上げている雰囲気も絶妙です。撮影者の「好き」が詰まった、その人の顔が浮かぶような作品です」(秋山)  
「とにかく実力を感ずります。被写体を熟知しているのではというほどシャッターチャンスがドンピシャ。こういう写真はなかなか背景に意識が回らないものですが、ボケ味の中もしっかり表情と奥行きのある背景が作れている点も素晴らしい」(熊切)

### 受賞のコトバ

この度はこのような賞を頂けて誠に光栄です。私は普段鳥をメインに撮っています。この写真に写っている鳥はコサギといい、主に小魚やカニなどを食べます。これは手に入れたカニを落としてしまい、追いかけている最中のところを撮りました。鳥でもつまづきそうになることがあるのだと新しい発見をしました。



賞状 CREATORSクロス

## 「せん頭」忽滑谷 拓巳

神奈川県立横浜瀬谷高等学校1年

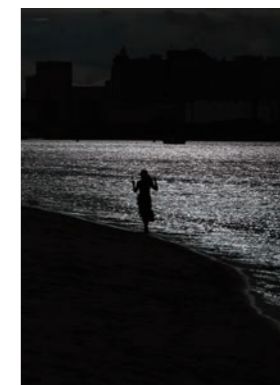
「全員が目を閉じていて微笑ましい気持ちになりました。ですが人物の上が窮屈なので、もう少し背景に余裕を持たせて、周囲の状況を入れたらよかったのかなと。そうすれば銭湯で撮ったことがより伝わるし、撮影時のまつりした雰囲気もさらに表せたはず」(秋山)



## 「温もり」幸地 今梨

沖縄県立浦添工業高等学校1年

「新しい命との繋がりを感ずられる作品。限られた一瞬を撮影したいという思いや記録性が非常に高く素敵ですが、寒々しい色みや黒が多い背景が気になりました。自然な色みに調整したり淡い色の背景で構成したりすると、より温かな印象の作品になったのかなと思います」(秋山)



## 「一人旅」太田 皐月

埼玉県立戸田翔陽高等学校1年

「海際のシルエットは王道ですが、黒潰れのしやすさを大胆に生かした表現に行き着いた点がすごいです。ただ、潰れた部分が多すぎる印象も。面積を減らすか、地面や背景のディテールをもう少しだけ出すとナチュラルでより良い作品になるのでは」(熊切)

# 銀賞

2024 / 第3回

賞状 CREATORSキャップ

「〈愛情表現〉は、普段から自分が気になる一瞬を逃さないように観察しているから撮れた作品なのではないでしょうか。タイミングがバッチリです。女性の首の動きが感じられて一緒に観察している気持ちになれるし、優しい夕暮れの色合いも素敵です」(秋山)  
 「ストレートなドキュメンタリー作品が多かった中で、〈Take your mark〉は仕掛けがあって目を引きました。サングラスを置くのではなくかけることで、彼女の視線を意識できる。飛び込む一瞬をサングラスの中で撮っている作品はあまり見たことがなく、若い感性を感じました」(熊切)

「屍的」 新和 裕介  
 神戸国際大学附属高等学校2年(兵庫県)



# 銅賞

2024 / 第3回

賞状 CREATORSタオル

「〈ほろ酔い〉は、しわが立体的に浮かび上がっていて、時間帯や光の質をよく見極めて撮影できています。男性の自然な表情からも、ポートレートの原点である“コミュニケーション”がきちんとなされたのだろうと感じました」(秋山)  
 「〈夏の記憶〉は、日常にカメラを向けるおもしろさがよく表れています。前ボケが“偶然見つけた”というような演出になっているのと、ガラスの反射が柔らかなフィルター代わりにしているのが非常に良いです。光の入り方もドラマチック。いい光を捉えることができれば日常もいい光景になり得る、ということがよくわかる作品です」(熊切)

「ほろ酔い」 濱本 海里  
 和歌山県立神島高等学校1年



「夏の記憶」 小林 結芽  
 中越高等学校2年(新潟県)



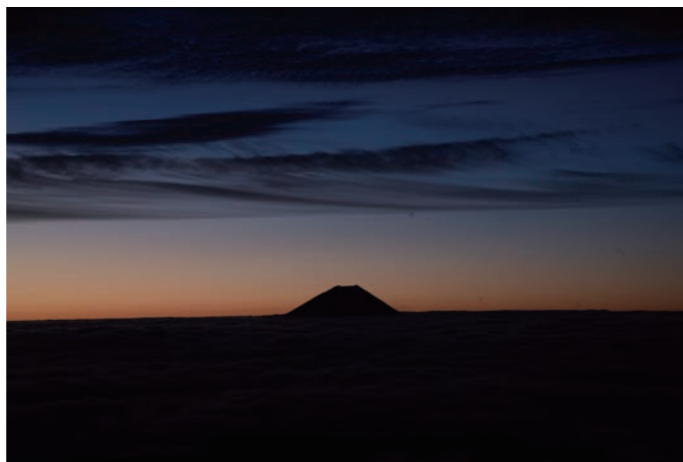
「あの頃の味。」 鈴木 えみ  
 中越高等学校1年(新潟県)



「引き潮」 秦 優月  
 龍谷大学付属平安高等学校2年(京都府)



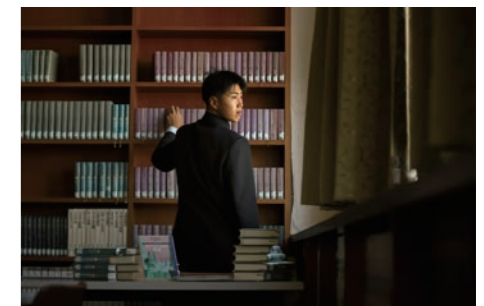
「雲海に浮かぶ富士山」 鈴木 天志  
 静岡県立下田高等学校2年



「日々」 山中 すみれ  
 和歌山県立神島高等学校2年



「高三男子」 鈴木 月渚  
 和歌山県立神島高等学校3年



「願いを込めて」 青山 拓  
 福井県立丹生高等学校2年



「向こう側」 辛島 優風葵  
 同志社女子中学校・高等学校 高校3年(京都府)



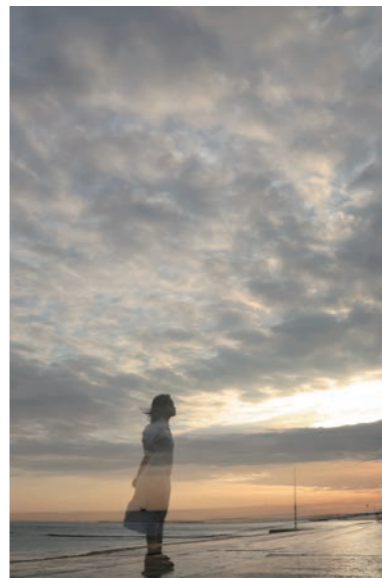
「Take your mark」 藤野 大吾  
 神奈川県立横浜瀬谷高等学校3年



「愛情表現」 金城 花音  
 沖縄県立浦添工業高等学校3年



「儂し」 岡田 莉瑠  
 八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



「弟の髪を切った日」 倉本 妃杏  
 群馬県立富岡実業高等学校2年



「紅蓮の走り屋」 湯朝 悠正  
 宮城県白石工業高等学校2年





「アトノマツリ」清水 ひかり

富山県立富山東高等学校3年



「誘う」丸山 世梨加

和歌山県立神島高等学校3年



「憂」生島 百華

八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



「時空を変えて」岡田 妃桜里

神戸国際大学附属高等学校2年(兵庫県)



「アトノマツリ」は、祭りの面ごしに見える水面の光の映り込みがなんとも美しい作品です。夏の思い出的なドラマチックな表現ができました。ですが、面ごしに絞った構図はやや右に寄りすぎていて窮屈に感じます。もう少し中に入れてもっとよくなるでしょう(熊切)  
 「真夜中の特訓」は、日常感のある小物を背景に入れているのがいいですね。洗面台の明かりで照らされた表情も際立っています。だからこそピントに迷いがあるのがもったいない。見どころである表情にきちんとピントを合わせたら、さらに主役が引き立つ写真になったかなと思います(秋山)

「きつとうまくいく」田邊 楓音

神奈川県立横浜瀬谷高等学校1年



「三位一体」増田 晶文

神奈川県立横浜瀬谷高等学校3年



「情熱」三條 颯太

宮城県白石工業高等学校2年



「真夜中の特訓」安里 すずら

沖縄県立浦添工業高等学校3年



「シロとクロ」服部 葉奈

沖縄県立浦添工業高等学校1年



「夢想」武元 綾花

堺塚山学院中学校高等学校 高校3年(大阪府)



# CAMERA LESSON

## 冬を演出する4つの撮り方。

その季節にしか撮れない写真を撮るのもカメラの楽しみ。  
 秋山先生にアドバイスをもらいながら、冬ならではの作品撮りにトライ!

### 1 イルミネーション

を撮ってみよう



イルミネーションは何よりボケ味が大事ですね。ポイントとなる被写体にピントを合わせた状態で、絞りの数値を小さくすれば手前と奥はボケていきますが、そのときに自分がカメラを構えるアングルや立ち位置を工夫するといでしょう。ポイントの被写体に対して背景が遠くなるような構図を組んであげると、点光源であるイルミネーションのボケ味は大きくなり、玉ボケらしい玉ボケになります。あとは望遠で撮影するのも玉ボケがキレイに表現できておすすめです。ただ、望遠は被写体の大きさをコントロールする工夫も必要。ちょうどいい大きさになるように、自分で足を動かしながら被写体との距離を測ってみてください。

### 2 雪

を撮ってみよう



日照時間が短く、太陽が低い冬ならではの環境を生かしてみましょう。たとえば人物が被写体なら、逆光によってシルエットが浮き立ったドラマチックな写真を撮ることができます。ここで注意したいのは、フレアやゴースト。逆光で太陽を入れて撮影すると出てきやすいです。もちろんその風合いが味になる場合もあるので、残すときは残す、適さないと感じたらアングルを調整する、などして上手に付き合しましょう。また、葉っぱや花など光を通しやすい被写体の場合は、逆光で露出を明るくして撮影すると、透明感を帯びた写りになります。これを「透過光で撮影する」といい、きらめいたような美しい写真を撮りたい方にぜひおすすめしたい手法です。

### 3 逆光

を生かしてみよう



### 4 色味

を調整してみよう

ホワイトバランスで青系の色合いに補正すると、冬らしい寒々しさが表現できます。いくつかの種類の中では「電球」が青みのある仕上がりになりますね。これをそのまま活用するのもいいですし、手持ちのカメラで色温度の設定ができるなら、自分で数値を細かく調節するのもおすすめです。より自分の理想の写真に近づくはず。Nikonのカメラであれば、ピクチャーコントロールも活用できますね。ニュートラルやビビッドなどのフィルターを使って、写真の雰囲気を変える機能です。使う際のポイントは、自分好みに調整を加えたりホワイトバランスと掛け合わせたり、いろいろな工夫をしてみる。そうすればよりナチュラルに自分らしい画作りができるはず。

参考にしてみて!

### 秋山先生ならこう撮る!



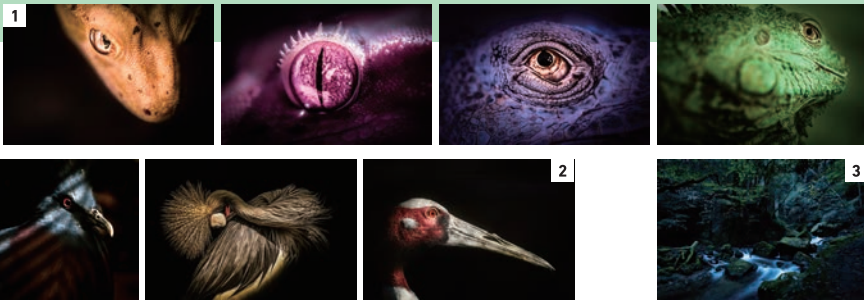
冬らしい写真というと、私はどこか寂しげで閑散としたイメージの写真が撮りたいと思うことが多いです。なので、そういうときは主役の被写体を小さく写して、背景をできるだけシンプルにまとめます。すると、なんとなく寂しい印象になる気はしませんか? また、人物を撮るときは、視線の先をうんと詰めてあげる。すると寒々しさが出てきます。逆に、広く空けてあげると希望や未来の気配がする。視線の先の空間バランスは、撮りたい雰囲気の写真に合わせてよく考えていますね。



# 先輩に学ぶ

Vol. 2

## 訪ねて。



1\_高校時代に撮ったお気に入りの作品「LOCK ON」。コンテストで入選を果たす。  
2\_2023年度TopEyeフォトコンテストTopEye賞「生命」。3\_今秋に撮影した奈良の龍鎮神社周辺。



堀 陽月さん

嵯峨美術大学芸術学部デザイン学科グラフィックデザイン領域1年生。帝塚山中学校高等学校卒。写真部在籍中に「生命」で2023年度TopEye賞を受賞。現在は大学で写真研究会に所属。

Instagram: @haru\_na\_1011\_

愛用カメラ Nikon D780

「愛称はダニエル。グリップが深いので安心して持つことができます。右手だけでISOやシャッタースピードなどの操作が完了するのが便利です。形もかわいい!」



### 自分のやりたい表現を貫くこと

もともと絵を描くことが好きで、高校では漫画研究会と写真部を兼部していました。写真部の活動が盛んだったことや、2年生のときに自分のカメラを買ったことで、絵を描くよりも手軽に自分の世界観を表現できる写真にどんどんハマってしまいました。

私は深夜の街並みや路地裏など、暗い雰囲気の写真が好きです。どこか自分と似ているような気がして落ち着きます。でも1年生の頃は、コンテストに入賞したい気持ちから審査員に好まれそうな明るい写真を撮ることに奮闘していました。でもやっぱりそんなことでは上手に撮れないし、入選もできず……。そんなとき、顧問の先生から「ウケは考えないほうがいい。君たちがやっているのは自分を表現するためのアートなんだから」と、アドバイスを買ったんです。この言葉がきっかけで、本当に好きなものをただ技術を高めようというところから切り替えました。「生命」は、そんな思いから新しい手法に挑戦しつつ自分の好きな雰囲気や鳥を捉えた作品で、今見ても納得できる仕上がりです。動物を撮るときにこだわっていたのは、目を入れること。そこに強さが宿っていると思うからです。さらに組写真の場合は、背景の余白を意識して被写体とのバランスを考えていました。

皆さんの中にも、自分の好きな表現と他人からの評価の狭間で揺れている人がいるかもしれません。でも自分が気に入っていい、自信が思えない作品は、バレル人にはバレます。まわりのアドバイスや新たな学びは吸収しつつ、やりたいことを貫く。これってすごく大事です。今は古い神社や森の風景を中心に写真を撮っています。人の気配がない空気感に惹かれるんです。ですが、今後はデザイン分野でも通用するような表現を上げたいとも思っています。今まで、好きを追い求めてこれたからこそ、今後は人のための写真も撮っていききたいです。

共感でしかない?  
みんなの声を大募集!

# 写真部 あるある

aru aru

写真を印刷するときに限って  
プリンターのインクがなくなりがち。

⑧ 最初にチェックを!

写真を撮るために出かける  
急に天気が悪くなる。

Nikonの一眼レフを持って  
女子部員が撮影していると、  
カメラ好きおじいちゃんに  
声をかけられる。

写真を撮るべき場面に出くわしたときに限って、  
家にカメラを置いてきてしまう。

⑧ 出かけるときは忘れずに!

水遊び、ハロウィンパーティー、  
タコパ……etc.  
写真部だけイベントしがち。

コンテストの  
締切を忘れがち。

⑧ 忘れなさい!

メガネ率が高い。



SDカードをポケットに入れたまま洗濯してしまうが、  
意外と壊れていなくて喜ぶ。

⑧ ホントに良かった!

SDカードを失くしがち。

体育祭で写真部員が  
地面に腹ばいになって  
撮影する↓他の部の  
生徒ドン引き。

写真を撮る  
時間よりも  
タイトルを考える  
時間のほうが長い。

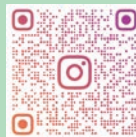
⑧ 考える脳が違うんだよね!

休日で友だちと遊んでいても、  
カメラをもっていないのに  
つついよいよ被写体を  
探してしまう!

### WEB・SNS展開中!

チェック&フォローお願いします

TopEyeの公式Instagramでは、コンテストの入賞作品や取材のひとコマ、写真展案内などは日々更新中。また、ニコンイメージングジャパンの公式LINEではニコンの製品やキャンペーン、ニコンプラザなどの最新情報をお届けします。ぜひフォローしてください!



「TopEye」  
Instagram



ニコン  
イメージングジャパンLINE



ニコンイメージングジャパン  
「TopEye」WEBサイト